

# 全学認証基盤に多要素認証[必須]をした大学のお話

大阪教育大学

理数情報教育系・情報基盤センター

尾崎 拓郎

ozaki@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

2023-Dec-15 Fri. @ 名古屋国際会議場

大学ICT推進協議会2023年度 年次大会, 15AM2B[企画]

多要素認証を「使ってもらう」ためのユーザーコミュニケーションとは  
～情報セキュリティとユーザー意識のバランスを考える～

Hosted by ユーザーコミュニケーション部会

# 国立大学法人 大阪教育大学

## ・ 教員養成系大学

- ・ 大阪府柏原市（メインキャンパス）、  
大阪市天王寺区（都市型キャンパス）
- ・ 教育学部（昼・夜・夜3年次編入）
- ・ 大学院連合教職実践研究科
- ・ 大学院教育学研究科

## ・ 2022年3月に「教員養成フラッグシップ大学」の指定を受ける。

## ・ 構成員数 (2023.5)

- ・ 大学教員 (240)
- ・ 非常勤講師 (230)
- ・ 事務職員 (170)
- ・ 附属学校教員 (257)
  
- ・ 学生  
学部 4000 + 修士 114 + 教職大学院 216 + 特専 30
  
- ・ 附属学校園  
児童生徒 5000

学生数 4,095名

西日本最大の  
教員養成大学   
(学部・大学院の収容定員数より算出)

教員志望者における  
教員就職率 99.5%  
(講師含む。令和3年度末学部卒業者) 

就職希望者における  
就職率 98.1%  
(令和3年度末学部卒業者) 

13 海外協定校  
35 万国・地域校

学部 多彩な学びを実現する  
35 専攻・コース

140年   
を超える歴史と伝統

少人数制による  
きめ細かい講義   
(学部募集人員(900名)  
本学教員数(244名)) 3.6名

令和3年入学科・授業料免除の計  
2億4千万円  
(入学科・前後期授業料 延べ免除者数1,248名)

広大な  
柏原キャンパス   
67万㎡  
阪神甲子園球場の約17倍

大阪市内の中心地に位置する  
天王寺キャンパス   
天王寺駅から徒歩 10分

大阪の教育をリードする  
附属学校園   
3地区 11 校園

附属図書館の  
蔵書数 94万冊 

# これまでの戦いの数々...

## 新入生に多要素認証をやってもらったら

大阪教育大学  
理数情報教育系・情報基盤センター・教育イノベーションデザインセンター  
尾崎拓郎  
ozaki@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

2021-May-03 Mon. 15:00 - 17:00 @ Zoom配信  
大プ会五拾六

国立大学法人 大阪教育大学

## 情報サービス利用のアナウンスと支援方略 ～新入生向けセットアップ案内から見てきたこと～

大阪教育大学  
理数情報教育系・情報基盤センター・教育イノベーションデザインセンター  
尾崎拓郎  
ozaki@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

2021-May-27 Thu. 12:00 - 13:00 @ Zoom Meetings  
AXIES ユーザーコミュニケーション部会 月例会

国立大学法人 大阪教育大学

## 大阪プログラミング・ 情報教育研究会 #56 (2021.5)

## AXIES-UC月例会 (2021.5)

## 多要素認証未設定者に対する利用資格変更 自動対応システムの提案

大阪教育大学 山本望実〇 坂本伸行 松井聡治 尾崎拓郎 佐藤隆士

2022/3/8 IOT56-24

1 国立大学法人 大阪教育大学

## 多要素認証必須化に伴う 新入生ICT環境セットアップ支援の実践

齊藤 梨緒<sup>1</sup>, 尾崎 拓郎<sup>2</sup>

大阪教育大学 学術部学術情報課 情報企画室<sup>1</sup>  
大阪教育大学 理数情報教育系・情報基盤センター<sup>2</sup>

2023/12/14 大教ICT推進協議会 2023年度 年次大会 14PMZ4-4

国立大学法人 大阪教育大学

## IPSJ IOT #56 (2022.3)

## AXIES 2023 (2023.12) 昨日!

尾崎 拓郎<sup>1</sup>, 松井 聡治<sup>2</sup>, 佐藤 隆士<sup>1</sup>  
大阪教育大学 理数情報教育系・情報基盤センター<sup>1</sup>, 学術部学術情報課情報企画室<sup>2</sup>  
ozaki@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

13PM2P-14  
2022/Dec/13 - 15  
AXIES2022 年次大会  
@ 山田国際センター

## 複数種の多要素認証必須化に伴う運用とその支援

### 概要

(背景) 2021年2月  
全学情報基盤システムリプレース  
統合認証システムの導入  
クラウドサービスの導入  
⇒ 多要素認証の導入

2021年度の取組  
複数サービス (G等) の認証基盤それぞれに対する「多要素認証必須化」実施  
⇒ 2022年度の取組  
新規利用者への案内・支援の充実

(結果) 多要素認証必須化を実施して:  
・2021年度在籍の利用者に対して、支援体制の構築, 半自動問い合わせツール導入 → 大きな混乱なく実施完了。  
・2022年度, 新規利用者に対して, 運用方法の一部変更, ガイドンス等での全体案内 → 大きな混乱なく運用。

### 情報基盤システムのリプレース

先代情報基盤システム (2017.2~2021.2) における認証体系

ID/パスワード  
グループウェア  
ActiveMail 研究利用メール (教職員専用)  
ActiveMail 教育利用メール (教職員・学生)  
学習管理システム (Moodle)  
学務管理システム (University Support) 教職員ID/パスワード  
人事給与  
財務会計  
異なるID/PW MS365 2020.3...  
Officeアプリ・Teams OneDrive等

ID/パスワードはある程度行っていたものの、それぞれのシステムで認証を実施  
大阪教育大学情報センターが基本計画に基づき情報セキュリティ向上

⇒ 利用者の利便性低下  
⇒ 多要素認証の必要性

### 段階的な必須化の実施

#### 2021年度の対応

それぞれのロール [教職員/学生] や利用サービス [Google/Microsoft/統合認証システムに紐づくサービス] によって、段階的に多要素認証必須化を実施。

実施した支援:  
・設定マニュアルの作成, 設定作業を促す案内  
・未設定者に対する設定支援 (ヘルプデスク・半自動問い合わせツールの利用)

【2021年度: 必須化実施に伴う利用者対応の総括】  
・教職員 → 対象人数が少ない (<500) こともあり, 全体連絡→問い合わせ毎に個別相談で対応。  
ヘルプデスク (ICT教育支援ルーム), 半自動問い合わせツールによる対応時間削減。

#### 2022年度の対応

新規利用者に対する多要素認証初期値を変更。

利用対象サービス	多要素認証初期設定
大教Google (大教Gmail) Googleサービス全般	未設定状態。大型連休後強制設定。鍵閉じ込め可能性有り
大教MS365 Officeアプリ OneDrive Teams (教職員限定)	未設定状態。大型連休後強制設定。
統合認証システム 履修登録, LMS, グループウェア, 研究利用メール	大教Gmailに変更。

実施した支援:  
・セットアップマニュアルの作成・ガイドンスでの全体案内  
・ヘルプデスクの充実 (初期設定支援会の実施)

【2022年度: 必須化実施に伴う利用者対応の総括】  
教職員・学生ともにマニュアルによる対応でほぼカバーできた。  
※ 多要素の鍵閉じ込め解除問い合わせが恒常的に発生しつつも, 対応件数は極小 (2022年4~9月: 189件 (Google, M365, 統合認証の総計))

### 今後の運用に向けた課題

・学部局間との密な連携 (教務スケジュール・行事等)  
→ サービス利用と認証需要の表裏一体の運用  
→ 情報基盤システムの利用需要予測  
→ 多要素認証紛失の恒常的な対応フローの確立

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

## AXIES 2022 (2022.12)

# 2021.2 情報基盤システムリプレイス

- 回線増速（コアシステムはSINET直結DC 10G \* 2）
  - 全拠点DC直結（柏原・天王寺・池田・平野）
  - 法定停電や災害対策に強くなった。
- クラウドシステム導入
  - MS365Edu A3（教職員・学生）
  - GWS（教職員・学生）
- SSO・MFA導入
  - 「統合認証システム導入！」
- その他もろもろ。

# 多要素認証の設定案内どうしよう？

- 当時，他大学のマニュアルページ等を見漁っていた…

全学教職員アカウントにおける多要素... ホーム 困ったときは 導入・説明会スケジュール 対象システム 多要素認証とは

## 多要素認証利用開始ガイド

Multi-Factor Authentication User's Guide

2020/9/28 最終更新

### 目次

- はじめにお読みください
  - 多要素認証について (概要)
  - 初期設定について
  - 日々の作業形態に合わせた多要素認証の初期設定方法の選択 (多要素認証利用開始マニュアル)
- 利用にあたっての留意点
- 用語集
- その他の情報
  - 部局通知
  - 導入・説明会スケジュール (別ページ)
  - 困ったときは (別ページ)
  - 対象システム (別ページ)
  - 多要素認証とは (別ページ)
  - リンク集

### Index

- Read this first
  - Overview of Multi-Factor Authentication (MFA)
  - Initial Settings
  - Choose your daily work style to access web services to find out required MFA initialization procedures (Multi-Factor Authentication Usage Manuals)
- Cautions
- Words
- Other Information
  - Install and Guidance Schedule (Other page, Japanese only)
  - FAQ (Other page, Japanese only)
  - Target Systems (Other page, Japanese only)
  - About Multi-Factor Authentication (Other page, Japanese only)
- Links

京都大学，全学教職員アカウントにおける多要素認証利用開始ガイド  
<https://sites.google.com/kyoto-u.ac.jp/mfa/home>

広島大学 情報メディア教育センター  
Home ニュース・お知らせ すべてのサービス センター紹介 FAQ・問い合わせ

## 多要素認証とは

多要素認証とは、パスワードでの認証だけでなく別の認証要素を加えることで、より安全な認証を実現する手法です。

メディアセンターが提供する2つのID「広大ID」「IMCアカウント」を利用する認証システム（シングルサインオン認証画面）では、多要素認証に対応しています。携帯電話やスマートフォンを使ったSMS認証やアプリ認証を要求することで、システムやサービスの不正利用を防ぎ、より安全な利用が可能になります。

多要素認証は初期状態では無効になっており、利用者の申請により有効化されます。

### 広大IDの場合

広大IDに多要素認証を設定すると、以下のような流れになります。

- ログインすると、別要素にコードが届きます。そのコードを入力するとログインできます。（コードを入力しない限りログインできません！）

(1) 広大IDとパスワードを入力

(2) 別要素で認証(3種類)

- スマホアプリ: スマホアプリでコードの確認
- メール: メールでコードの確認
- バックアップコード: バックアップコードでコード確認

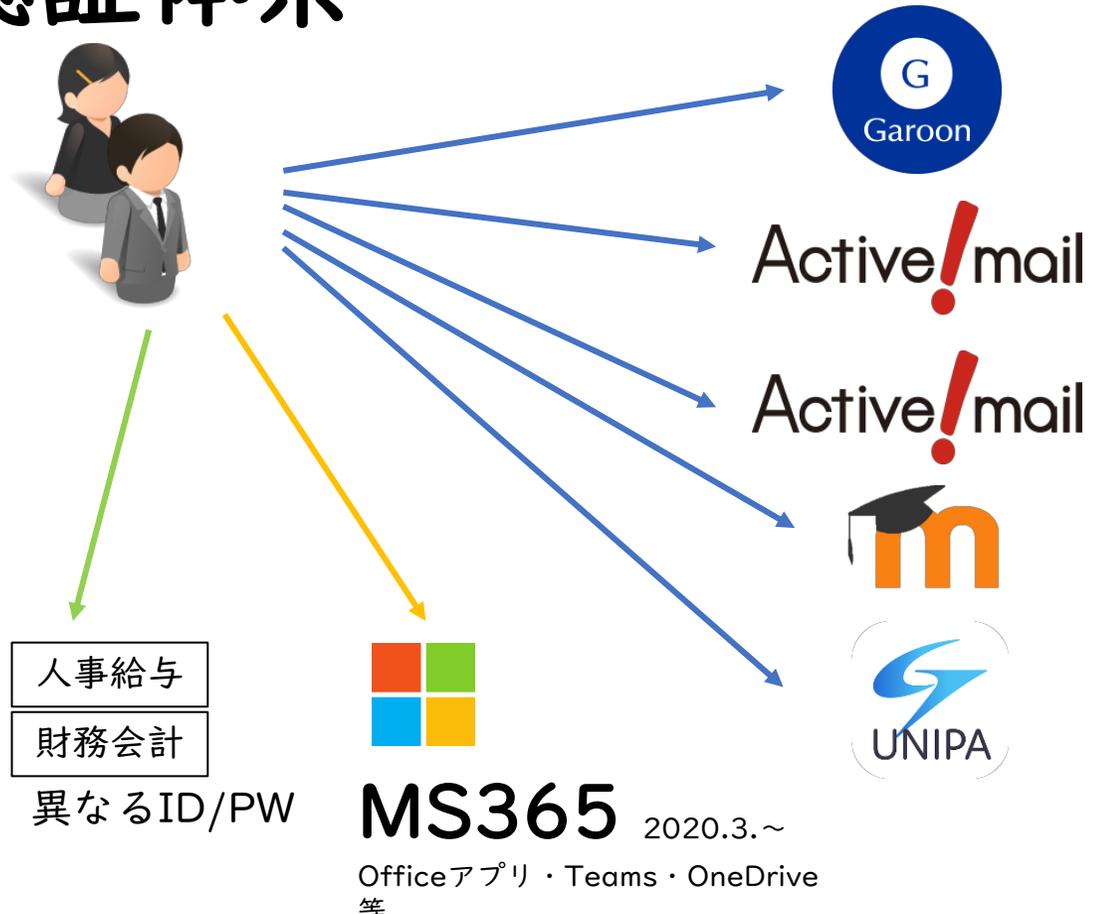
(3) 認証完了

### すべてのサービス

- Microsoft365ポータル
- アカウント利用登録
- 多要素認証
- 多要素認証とは
- IMCアカウントの多要素認証
- SMSでの認証
- 電話での認証
- モバイルアプリでの認証
- 広大IDの多要素認証
- 広大メール (クラウドメール)
- ファイル一時保管・共有サービス (Nextcloud)
- Microsoft365サービス
- 端末室
- セミナー室
- プリンタ・スキャナ
- HINET
- 個人用ウェブ・データベースサービス
- グループサービス
- ホスティングサービス
- メール着信リストサービス
- HPCクラウド
- アプリケーションサービス
- ライセンスサービス

広島大学情報メディア教育センター，多要素認証とは  
<https://www.media.hiroshima-u.ac.jp/services/mfa/aboutmfa/>

# 先代情報基盤システム（2017.2～2021.2）における 認証体系



ID/PWの同期

## グループウェア

ガルーン（教職員限定）  
※ 学外アクセス不可

## 研究利用メール（教職員限定）

[ユーザーID]@[教職員用サブドメイン]

## 教育利用メール（教職員・学生）

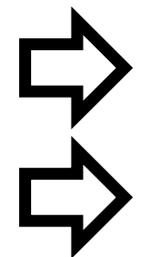
[ユーザーID]@[教育利用サブドメイン]

## 学習管理システム (Moodle)

## 学務管理システム (Universal Passport) 異なるID/PW（教職員） 学生はID/PW同期

ID/PW同期はある程度行って運用していたものの、それぞれのシステムで認証を実施

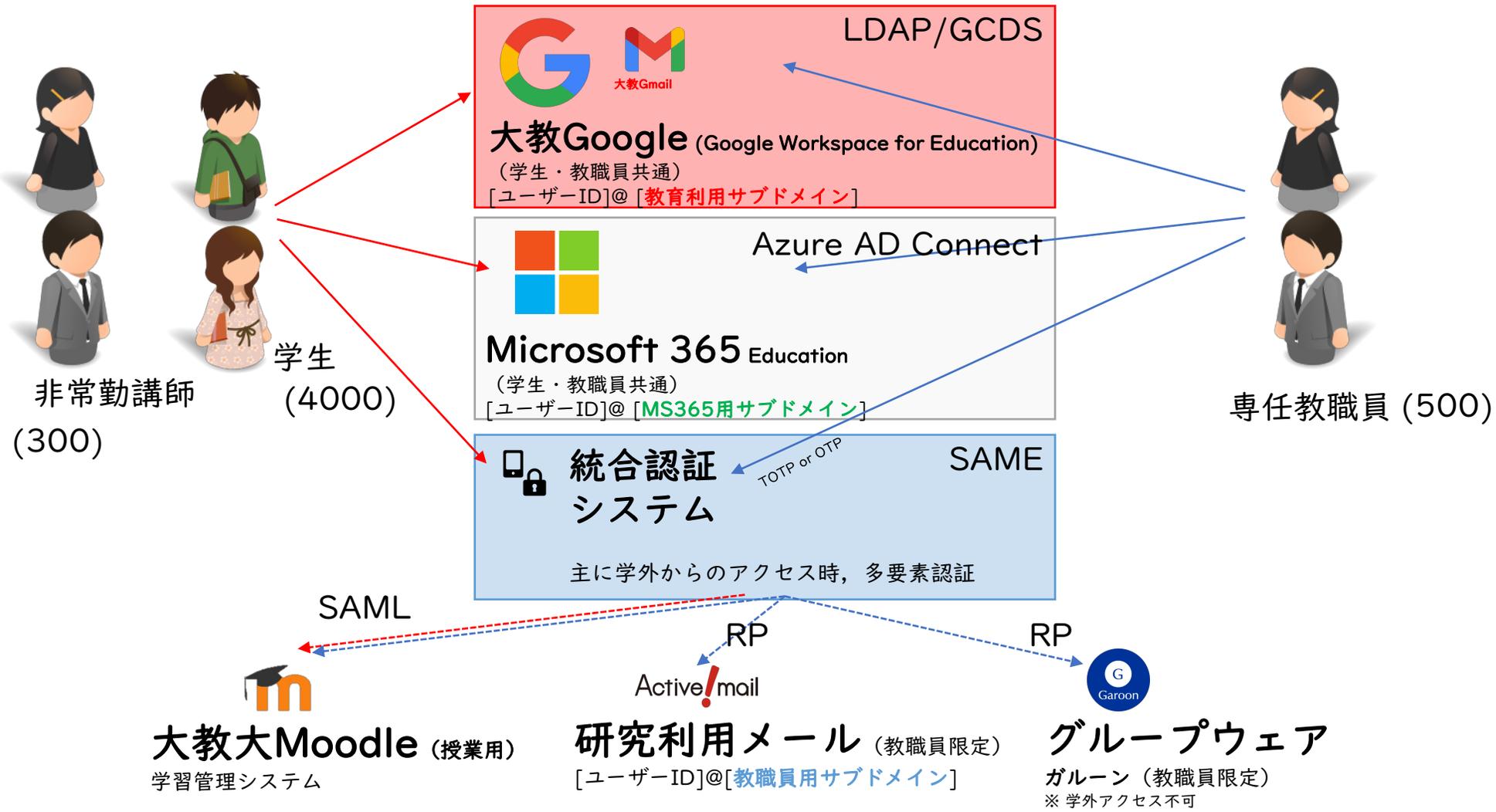
大阪教育大学情報セキュリティ基本計画に基づく情報セキュリティ向上



利用者の利便性低下

多要素認証の必要性

# 2021.2 情報基盤システムリプレイス



独立した3種類の認証体系での運用を実施

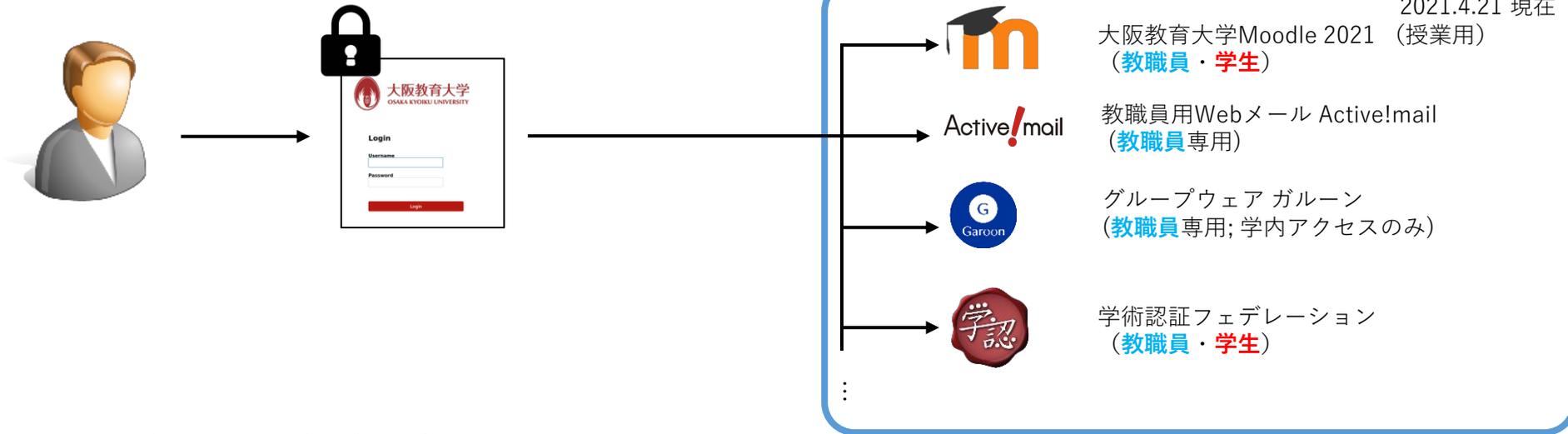
・ Google, Microsoft の認証を利用  
→ 最新の認証方式を利用可能。

# SSO連携先サービス

ユーザー

統合認証システム

全学IDを利用する各種サービス（例）



## 当時の懸念点

- ・学内からはMFA任意。学外からはMFA**必須**。
- ・学生向けの対応サービス少くないですか？（ほぼMoodle専用。学外MFA追加実装？）
- ・教職員用のメール，学外からはActive!mail（オンプレ）の利用を推奨。
  - ・一方，学生用メールはGmailに移行。

当時，個人的に暗中模索であった。

# リプレース直後どうなったか。

- 「問い合わせ」 件数の増大。

センターとしてシステムの挙動をきちんと把握していない、  
しかもろくにマニュアルがきちんと整備されていない

➡ 未知の問い合わせに対応できない

電話対応に時間が割かれる割にはナレッジがたまらないという悪循環…  
今思い出してもきつかったような。

# 2021年2月。

## 統合認証システム・初期設定のお願い

2021年02月24日以降に設定願います。  
大阪教育大学 情報基盤センター  
center@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

**【はじめに】**  
統合認証システムで「ワンタイムパスワード」を設定しない限り、学外からActivemail（研究利用）等が閲覧できなくなります。  
➡ **必ず・2月中に・ワンタイムパスワードを・学内ネットワークから・設定して下さい。**  
2021年2月24日から2月28日までを設定期間としておりますが、3月1日以降は学外からのActivemail等が閲覧できない設定となります。  
設定そのものは10分程度で完了しますので、かならず2月中に、学内ネットワークからワンタイムパスワードの設定をお願いいたします。

**【Step 1.】**  
あらかじめ「2番目の」認証要素を準備して下さい。  
a. Authenticatorアプリ  
b. 任意のメールアドレス  
のいずれかが必要です。

**【Step 2.】**  
統合認証システム (SSO) 設定ページから設定を行ってください (学内ネットワーク専用)。  
<https://shib.osaka-kyoiku.ac.jp/user/>

**【Step 3.】**  
10-1パスワードでログインする。

**【Step 4.】**  
(4.1.) ログイン後、「ワンタイムパスワード設定」を行う。  
(4.2.) 「アプリ」もしくは「メール送信」の認証どちらかを選択します。  
(4.2.1.) アプリによる認証の場合、Authenticatorアプリを起動し、QRコードをスキャンする。  
※はじめ、【Step 1.】で案内したアプリインストールの案内が表示されますが、アプリインストール済の場合は画面表示の【Step 1/4】がスキップして「次に」を選択していただき、画面表示【Step 2/4】に進んで下さい。  
(4.2.2.) 「設定が完了しました。」と表示されれば設定完了です。  
(4.2.3.) リセット用メールアドレス → 自分自身の【ユーザーID】を入力。  
ワンタイムパスワード → アプリで表示された6桁の数字を入力。  
→ 2ヶ所の入力が確認できたら「登録」を選択します。  
(4.2.4.) 「設定が完了しました。」と表示されれば設定完了です。  
(4.3.1.) メールによる認証の場合、「メールアドレス」に任意のメールアドレスを入力します。  
→ 「次へ」を選択します。  
(4.3.2.) 入力したメールアドレスに届いたワンタイムパスワードを確認します。  
(4.3.3.) 届いたワンタイムパスワードを入力し、「登録」を選択します。  
(4.3.4.) 「設定が完了しました。」と表示されれば設定完了です。

## 統合認証システム・多要素認証の設定について

統合認証システムの多要素認証について (概要)

- 統合認証システムの多要素認証を利用するためには、教職員は必ず多要素認証の初期設定作業を実施して下さい。
- 初期設定作業は「学内のネットワーク」に接続された端末から実施して下さい。自宅や学外のネットワークでは設定できません。
- 作業前、「スマートフォン」もしくは「メール送信」されている【大学メールアドレス以外の】メールアドレスを準備して下さい。
- 多要素認証の設定をしない場合、例えば学外から下記サービスの利用ができません。
  - 教職員Activemailの利用 (教職員専用) (教員用(cc)) (教員用スマートフォン用(cc)) (非教職員用 (bur))
  - 大阪教育大学House 2021 for Class (授業動画)
  - 授業評価システム (C-Learning) [学生用] (教員用)

多要素認証利用のための初期設定作業

- 下記の1番の説明を 説明期間 でもご覧いただけます (2021年更新し生向けとなっておりますが、構成の方を対象としている内容です)。
- 初期設定作業は「学内のネットワーク」に接続された端末から実施して下さい。
- スマートフォンのみで作業を実施する場合には 多要素認証・ワンタイムパスワードの設定・スマートフォンで設定実施欄 をご覧ください。

- 下記のいずれかを準備して下さい。
  - スマートフォンの認証アプリ (Google Authenticator (iOS, iPhone, iPad) [Google 認証システム (Android)])
  - 実用可能な任意のメールアドレス
- 統合認証システムの設定ページ <https://shib.osaka-kyoiku.ac.jp/user/> から 多要素認証の初期設定を行います。設定は学内のネットワークからのみ実施可能です (自宅等、学外のネットワークからは設定できません)。
- 統合認証システムの設定ページ に進み、自身のID・パスワードでログインします。  
※ 多要素認証設定が完了した学外からアクセスしはる場合は設定画面まで表示されません。
- ログイン後、「ワンタイムパスワード設定」を行います。
  - 「One-Time Password Settings / ワンタイムパスワード設定」を選択します。
  - 「アプリによる認証」もしくは「メール送信による認証」のどちらかを選択します。なお、初期の選択は「アプリによる認証」になっています。
- 「アプリによる認証」の場合。
  - スマートフォンの認証アプリを起動し、表示されたQRコードを読み込んでトークンの取得を行います。なお、はじめに、準備したスマートフォンのアプリのインストール案内が表示され、アプリをインストールするためのQRコードが表示されます (Step. 1/4)。スマートフォンアプリをインストールしていない場合は案内は表示されません。
  - Authenticatorアプリを起動し、「QRコードをスキャン」を選択します。
  - QRコードを読み取り、時間ごとに表示される6桁の数字が表示されます。
  - 「設定が完了しました。」と表示されれば設定完了です。
  - リセット用メールアドレス → 自分自身の【ユーザーID】を入力。  
ワンタイムパスワード → アプリで表示された6桁の数字を入力。  
ワンタイムパスワード → (3) で表示された6桁の数字を入力します。  
2ヶ所の入力が確認できたら「登録」を選択して下さい (Step. 3/4)。
- 「設定が完了しました。」と表示されれば設定完了です (Step. 4/4)。

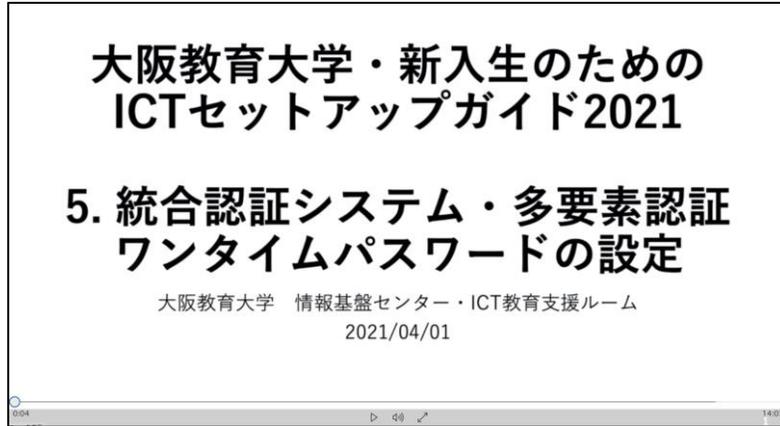
システム更新 = 2021/2/24

・教職員用の「グループウェア」「Webメール」はSSO-MFA乗換必須。学生サービスにはほぼ影響がないので、ひとまず教職員に案内。

「教職員用メール」 (研究利用)  
「学生用メール」 (教育利用)  
を混同する教職員多数。  
ハレーションの電話とメール。  
**悲惨。**

チラシをまく (教職員) Webページ公開。

# 2021年3月末～4月頭。



## セットアップ動画マニュアル

ひたすら新入生向けマニュアルを作成。

入学式後のガイダンス(4/2), 学生証受取時のガイダンス(4/8)でそれぞれ情報システムのことをアナウンス。

できる限り学生からの問い合わせを減らす努力をした。

新入生向けWebセットアップガイド

# 2021/4/8 ガイダンス時資料より。

## 本日よりお願いしたいこと：

- ・ユーザーID（利用承認書）  
→ 個人に紐づく機密情報。絶対他の人に教えない。  
紛失することのないように。
- ・大阪教育大学ドメインを持つ責任  
→ @ex.osaka-kyoiku.ac.jp は大阪教育大学の人である証。  
大学生活のために適切に使う。
- ・多要素認証・ワンタイムパスワードの設定  
→ セキュリティ強化のために実施。



**本日中・大学内で必ず設定して帰って下さい！！**

3 大学内のネットワーク (grapes) で設定して帰らないと、授業用Moodleが自宅等から閲覧できません。 国立大学法人 大阪教育大学

## よくわからん！困った！という人は。



- ・ICT教育支援ルームの学生スタッフ（先輩方）が対応してくれます！

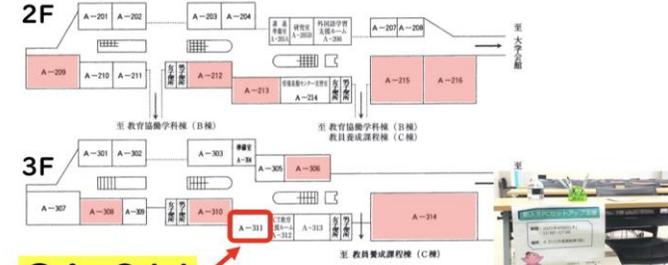


入学式時にリーフレットを配布済みです



ICT教育支援ルーム  
マスコットキャラクター  
いくとばす

### @共通講義棟



### @A-311

本日17:00まで支援しています。  
本日よりの特設会場です。 少しでも設定に不安があれば寄って下さい。

国立大学法人 大阪教育大学

## ワンタイムパスワードの設定方法

- ・手順がたくさんあるので、  
詳細はマニュアルを参照して下さい。



新生のための  
セットアップガイド

### 【準備するもの】

Authenticatorアプリ  
例: Google Authenticator

iPhone, iPad      Android

もしくは

任意のメールアドレス  
(携帯電話のメールアドレスを想定)  
認証時にすぐに受信メールを  
確認できるメールアドレスが  
望ましいです。

国立大学法人 大阪教育大学

# 案内後，新入生殺到。

# 「よくわからん」仕組みは 説明しても「よくわからん」。

- 新入生150人程度来訪（ガイダンス対象800人程度）。
- 取りこぼして未設定ユーザーもぼちぼちいるものの，ある程度は一気に片付けた。
- 「なんのためにしているのか」をよくわかっていない新入生。
- MFAに設定するFが教職員と学生で大きく異なることが。

# なお、関連した事件は身近に起こるもので…



GIGA元年にして、  
なかなかの事案が。

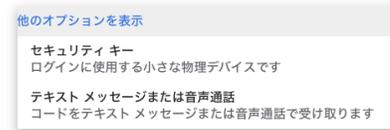
二要素目も入力させられたのは  
手痛い…

# 2021年度中に「多要素認証必須化」

それぞれの利用実態に応じて段階的に必須化を実施。

## 大教Google ⇨ Google 2段階認証プロセスの適用

[デバイス認証], [認証アプリ],  
[電話], [セキュリティキー]  
教職員：2021.9～  
学生：2022.1～



## 大教Microsoft ⇨ 2段階認証の適用

[認証アプリ], [電話], [セキュリティキー]  
教職員, 学生：2021.10～

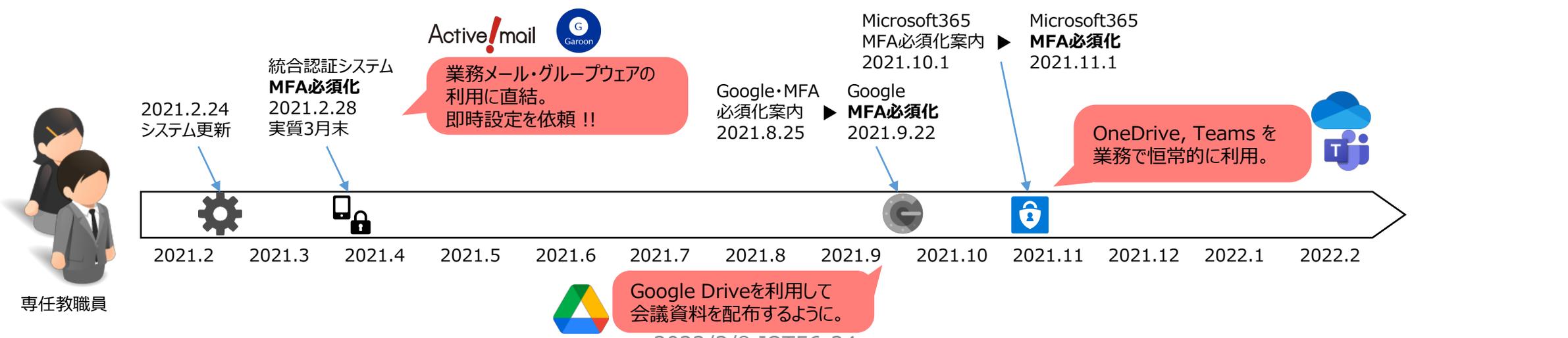
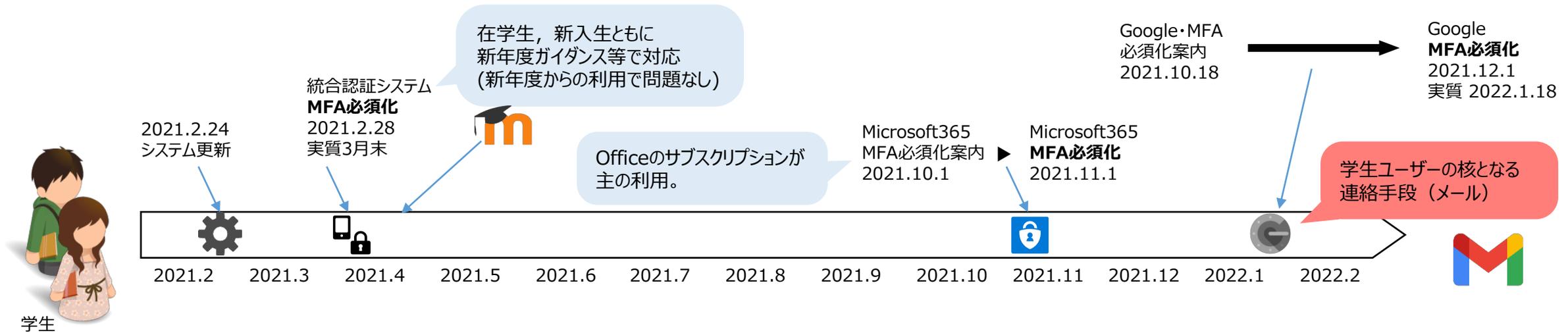


## 統合認証システム ⇨ システム標準の多要素認証の適用

[認証アプリ], [メール]  
教職員：2021.2～  
学生：2021.2（実質2021.4）～



# 多要素認証必須化のロードマップ (2021年度)



# 2022年度：新規構成員への対応

- ID配布のタイミングでセットアップする必要が出てきた。
  - MFA設定済ませないとLMSアクセスできなくなる…（学生・教職員）
  - 学外からの業務メールも確認する術が失われる…（教職員）
- SSO-MFAの初期値の見直しを実施。
  - SSOのMFA初期値を教育利用メールアドレス（大教Gmail）に設定。
  - いわゆる「詰み」の可能性を少しでも減らす。
- 支援方法を2021年度から変更。
  - セットアップマニュアルの作成（学生向け）
  - ガイダンスでの全体案内（学生向け）
  - ヘルプデスクの充実（初期設定支援会での実施）

# 2022年度：新規構成員への対応

- 新規利用者に対する多要素認証初期値を変更を試みた。

	利用対象サービス	多要素認証初期設定
大教Google 	<ul style="list-style-type: none"><li>• 教育利用メール (大教Gmail)</li><li>• Googleサービス全般</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 未設定状態。</li><li>• 大型連休後強制設定。 鍵閉じ込め可能性有り</li></ul>
大教MS365 	<ul style="list-style-type: none"><li>• Officeアプリ</li><li>• OneDrive</li><li>• Teams (教職員限定)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 未設定状態。</li><li>• 大型連休後強制設定。</li></ul>
統合認証システム	<ul style="list-style-type: none"><li>• 履修登録, LMS,</li><li>• グループウェア,</li><li>• 研究利用メール</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 大教Gmailに変更。</li></ul>

# アカウントセットアップ方法の変遷 (2021~2023)

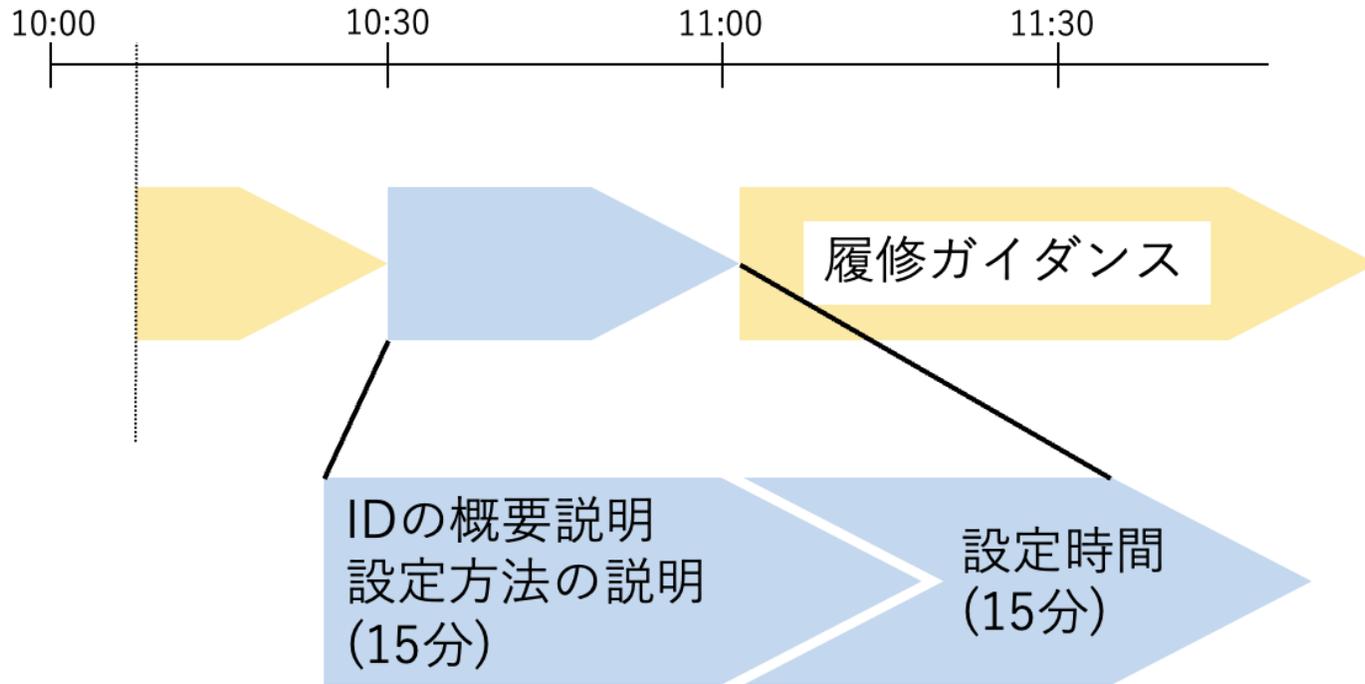
## 学部新生への対応の変遷

	2021年度	2022年度	2023年度
統合認証システムの多要素認証要求	<ul style="list-style-type: none"><li>必須</li><li>初期値なし</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>必須</li><li>初期値あり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>必須</li><li>初期値あり</li></ul>
セットアップマニュアルの配布	<ul style="list-style-type: none"><li>Webのみ展開</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>冊子 (ID関係の最低限必要事項)</li><li>Web (PCセットアップ)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>冊子 (ID関係の最低限必要事項)</li><li>Web (PCセットアップ)</li></ul>
セットアップの説明方法	<ul style="list-style-type: none"><li>学生生活ガイダンスに設定方法マニュアルの案内のみを行う (5分)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>履修ガイダンス中に説明動画を上映 (20分) (作業時間を確保できず)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>履修ガイダンス中に説明動画を上映, 終了後, 作業時間を確保 (30分)</li></ul>
セットアップ支援会の実施	<ul style="list-style-type: none"><li>学生生活ガイダンス後の支援会を案内</li><li>教科書販売期間に臨時窓口を展開</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ガイダンス終了後の支援会を案内</li><li>教科書販売期間に臨時窓口を展開</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>終了後の支援会を案内</li><li>教科書販売期間に臨時窓口を展開</li></ul>
履修ガイダンス実施方法	<ul style="list-style-type: none"><li>動画による一斉説明 25箇所同時展開</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>動画による一斉説明 25箇所同時展開</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>動画による一斉説明 最大7箇所×4セッション展開</li></ul>

# 2022年度の新入生支援（1/2）

- 大学院生対象の会場には要請があり、情報企画室職員が直接支援実施。

→大きな混乱は見られなかった



2022年度新入生ガイダンスのタイムテーブル（大学院生対象）



動画による説明に加えて、  
情報企画室職員による補足説明

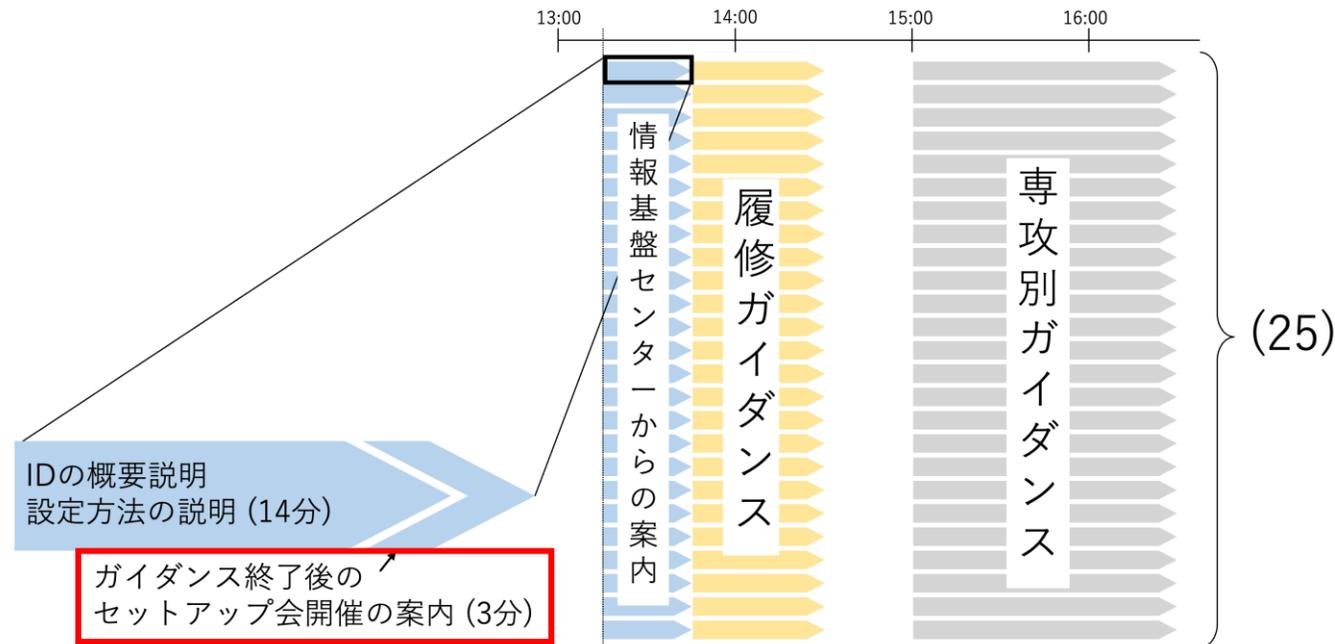


質問は会場で職員に直接質問可能

# 2022年度の新入生支援（2/2）

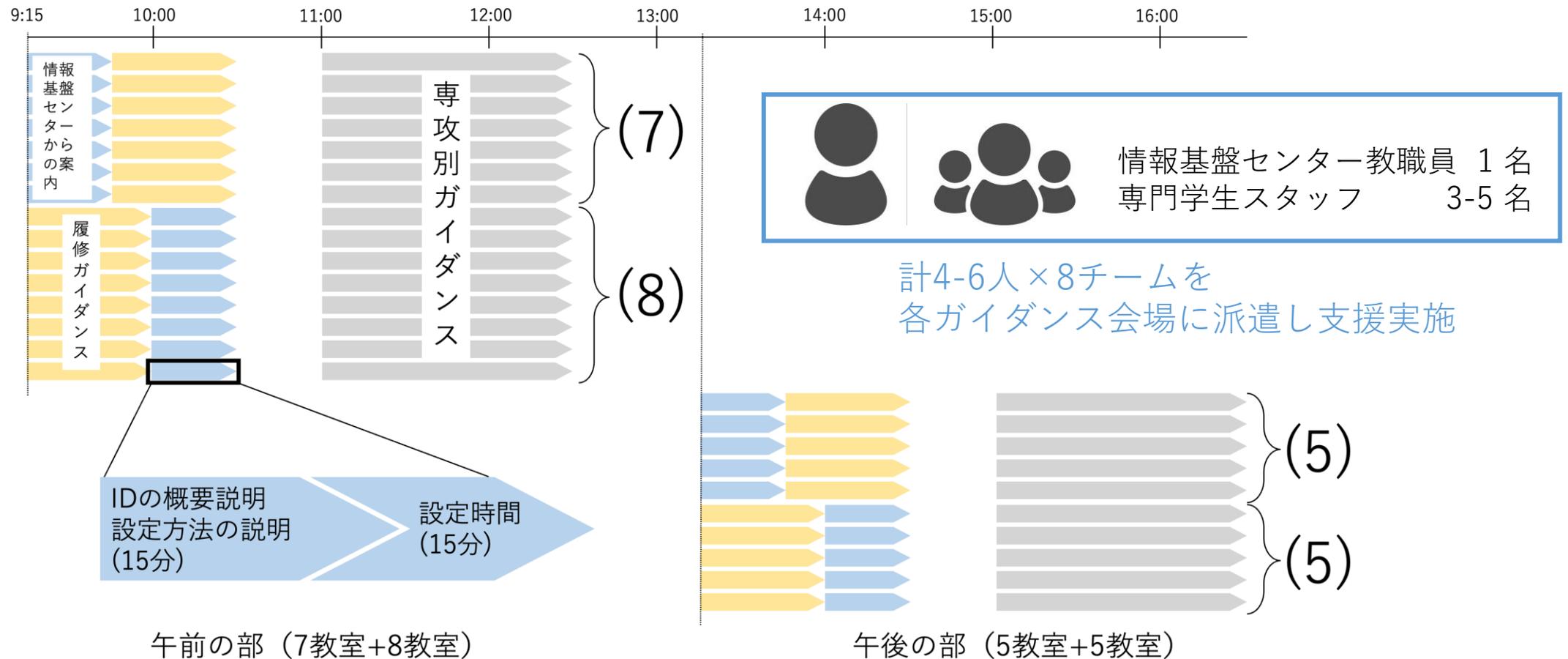
- 学部生対象新入生ガイダンスは全25教室で同時展開
  - 全ての講義室に専門知識のある職員を派遣することは困難
  - 事前収録による説明動画の上映のみ

→ セットアップフォロー会に学部生が殺到



# 2023年度の新入生支援（1/2）

- ガイダンスのタイムテーブルを調整し，同時に開催される会場数を抑制



# 2023年度の新入生支援（2/2）

- ガイダンス会場での支援の実施
  - 動画による説明のあと、一斉にセットアップを実施
  - ガイダンス中に支援スタッフに質問した学生は約300人



学生スタッフへのブリーフィング  
※ 8:30集合。約30名。



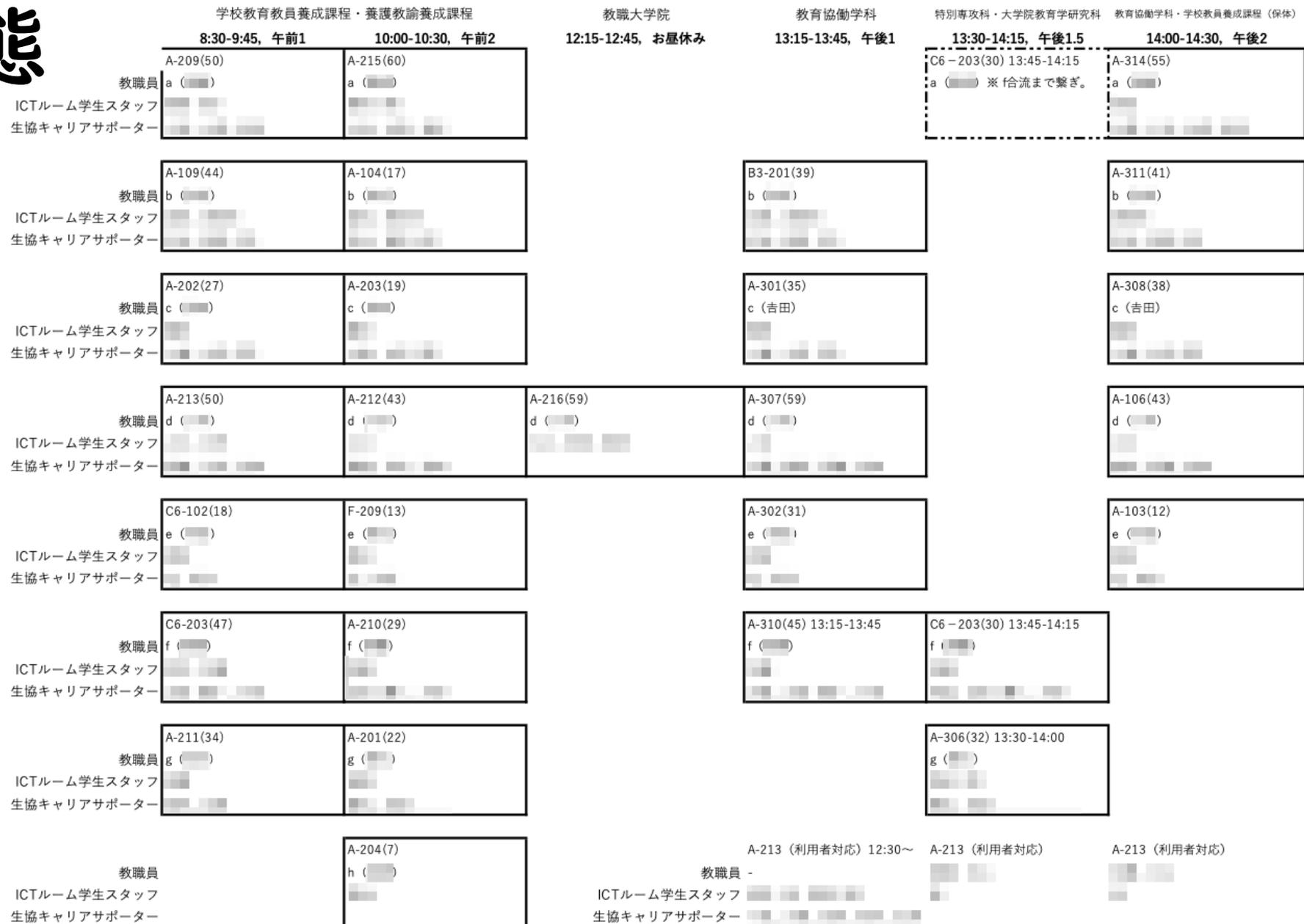
ガイダンス時の動画上映の様子



スタッフにその場で直接質問可能

# スタッフ動態

- 全28枠。
- 同時8展開。



※準備 12:30~ (ICT) ,  
12:50~ (生協)  
※開室 13:00~

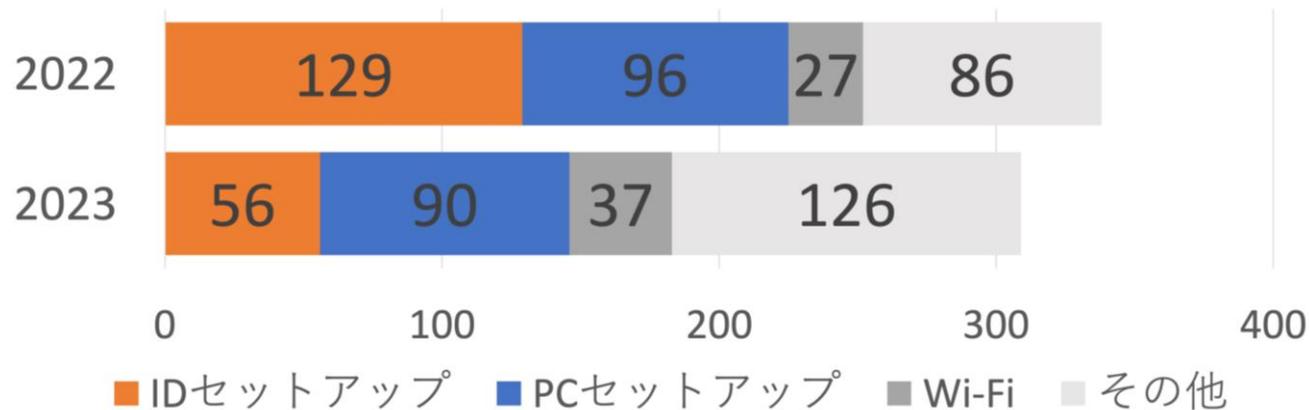
# 支援実施の結果と考察

- 新生ガイダンス直後の支援実施件数が大幅に減少

大阪教育大学 ICT教育支援ルームにおける  
新生ガイダンス直後の支援対応件数（件）

2022	2023
125	6

- IDセットアップ関係の支援件数が大幅に減少



大阪教育大学 ICT教育支援ルームにおける4月の支援対応件数（件）

→ 要支援者数の抑制に  
大きな効果

# 課題・2024年度に向けて

- 準備時間・人員動員の負担大
  - タイムテーブル・人員配置など準備・検討時間の負担
  - ガイダンス当日の人員負担（教職員・学生含めて約40名を動員）
- 事前準備にかかる時間削減
  - 2023年度支援実施をもとに人員配置や事前研修を簡略化
- スタッフの入れ替わりに伴う人員配置の再検討
- 学部改組，アフターコロナによる新年度スケジュールの変更